

言語情報処理研究 (その2)

2 units 3rd-year(2nd semester), 4th-year(2nd semester)

Kohji Nakashima · ASSOCIATE PROFESSOR / DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL STUDIES

Target) 言語コーパスとは何か理解する。また、コンピュータのツール (KWIC コンコーダンサー等), Unix コマンド, プログラミング言語 (Perl) を利用して言語コーパスを分析する技能を身につける。

Outline) コンピュータを用いた言語コーパス分析

Keyword) *Perl, corpus linguistics*

Notice) 基本的なパソコン操作力を前提とする。前期と後期は内容的に連続しているため、前期・後期とも受講することが望ましい。

Goal) コンピュータ言語 Perl を使って、言語情報処理のために必要な基本的アルゴリズムを習得し、自分で実際に言語処理プログラムが作成できるようにする。また、文字列処理のための便利なコマンドが標準的に用意されている Unix という OS の仕組み・使い方を理解することにより、言語情報・文字列をコンピュータで処理するための実践的スキルを身につける。

Schedule)

1. 正規表現
2. 関数
3. モジュール
4. ファイル操作
5. 応用プログラム作成 (文字列の加工, 頻度表の作成, KWIC 出力, etc.)

Evaluation Criteria) 授業への参加度および定期試験による。

Re-evaluation) なし

Textbook) 「独習 Perl 第2版」(武藤健志・トップスタジオ編著:SHOEISHA)

Webpage) <http://uzu.ias.tokushima-u.ac.jp/staff/nakasima/>

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218565>

Contact)

⇒ Nakashima (総合科学部 1号館 (1S11), nakasima@ias.tokushima-u.ac.jp)

MAIL (Office Hour: 火曜 16:10-17:10)